

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	<開催日>令和6年1月12(金)	<傍聴人数> 4名
森下会長 和泉委員 中川委員		<時 間>14:00~14:35	<傍聴室>
		<場 所>岸和田市役所新館 4階 第1委員会室	岸和田市役所新館 4階 第1委員会室
承認	公開		

<名称> 第30回(令和5年度第2回)岸和田市子ども・子育て会議

<出席者>

(岸和田市子ども・子育て会議委員出欠状況) ○は出席、■は欠席

森下	近森	関本	和泉	阪口	高松	中川	新川	新田
○	○	○	○	■	○	○	○	○
長谷川	網代	藪	撫養	松永	阪本	梅崎	茂野	
○	○	○	○	○	○	○	○	

(事務局)

大西子ども家庭応援部長、藤浪教育次長兼教育総務部長、山本保健部長
 牟田生涯学習部長、鈴木子育て支援課長、津田子育て施設課長、
 山田こども園推進課長、青田子ども家庭課長、長谷川健康推進課長
 井上教育総務課長、松本学校教育課長、井出生涯学習課長 他

<議題等>

1 開会

2 議題

(1) 第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定について

(2) その他(意見交換)

<概要>

■開会

■挨拶(子育て支援課長より)

■議題(1)について事務局から説明

■事務局の説明を受け、質疑・応答

■議題(2)について

■閉会

■署名委員指名

【議 長】

まず、本会議の署名委員として、和泉委員と中川委員を指名いたします。よろしくをお願いします。

■議題（１）第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定について

【議 長】

それでは、次第に従いまして、「２ 議題（１）第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、第３期 岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定について、子育て支援課より説明いたします。少し長くなりますが、ご容赦願います。

本年度、第１回（令和５年８月４日開催）の第２９回子ども・子育て会議で既に承認をいただきました通り、本市におきましては、国、府から努力義務として策定を求められております自治体版「子ども計画」を策定するのではなく、現在進行形で計画を進行している「第２期子ども・子育て支援事業計画」に引き続き、令和７年度から新たに始まる「第３期子ども・子育て支援計画」を単独で作成することとなっております。

前回の会議にて計画策定のタイムスケジュールを簡単に説明させていただきました。令和５年８月～９月で策定委託業者の選定を行うため、日程どおり入札の手続きを進めて参り、９社の業者にお声をかけさせていただきましたが、結果としまして、全社辞退となり、この時点では、計画策定業者を決定することができませんでした。

全社とも辞退されたので、理由を探るべくいくつかの業者に聞き取ったところ、この時期は、子育て分野だけではなく、障害や介護等、あらゆる分野において計画策定の時期と重なり、業者も人手が足りない時期であったことが、大きな要因だったようです。

従いまして、再度の業者選定につきましては、業者の繁忙期を避けて、今月の１月２２日に入札を実施し、業者の決定を行っていきたいと考えております。その後、２月、３月で「ニーズ調査」を実施、完了をしたいと考えております。

詳細なスケジュールについては、ご配布させていただいております資料３の今回修正しました「第３期岸和田市子ども・子育て支援事業計画作成スケジュール」でご説明させていただきますので、ご覧ください。

まず今年度残りの予定ですが、業者の選定は、先ほど申しあげましたとおり、1月22日に入札を予定しております。

次に、「ニーズ調査」の内容ですが、本日ご議論いただきまして、固めていきたいと考えております。

その後、2月・3月の2か月で市民「ニーズ調査」アンケートを実施します。年度が替わってからは、「ニーズ調査」結果を鑑みて量の見込みの分析と算出から始めまして、計画の案を夏頃までに固め、市内部で決裁の後、パブリックコメントを実施し、3月末に完成させたいと考えております。なお、当然の話ではありますが、この子ども・子育て会議で審議を適宜仰ぎながら進めてまいります。

続きまして、この「ニーズ調査」の内容についてですが、計画策定における「量の見込み」の分析、算出のための最も重要な資料となります。

この「ニーズ調査」の調査表につきましては、すでに委員の皆様には12月6日に郵送させていただいているかと思えます。「就学前児童用調査票」と「就学児童用調査票」の2種類の調査票を入れさせていただいております。

この後、この「ニーズ調査」の調査項目について、委員の皆様にご意見、ご審議いただきまして、調査項目を決定していきたいと思えます。

なお、案内文書でも説明させていただいておりますが、この2種類の調査票は、大阪府が最終的に大阪府内市町村の調査結果を集計の上、「大阪府子ども計画」に反映させるとのことですので、調査項目の内容、文言の訂正、変更はできませんので、ご了承願います。

また、前回「第2期子ども・子育て支援事業計画」の「ニーズ調査」につきましては、調査票が3種類ございました。今回と同じ「就学前児童用調査票」「就学児童用調査票」に加えて、「放課後児童クラブ（チビッコホーム）用調査票」も入っておりますが、今回、調査票を検討するにあたって、勝手ながら事前に学童保育連絡会の撫養委員にご相談させていただきました。

その結果、内容的に「就学児童用調査票」の質問項目に重なるところもあるので、回答していただく方に分かりにくいこと、そして計画策定に係る予算も考慮して、今回は「放課後児童クラブ（チビッコホーム）用調査票」は使用しないということに決めさせていただきました。

「第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定」の説明については以上です。よろしく願いいたします。

【議 長】

ありがとうございました。ただ今、事務局より「第3期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の策定について」説明がありました。
委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

【委 員】

配布するアンケートは2種類あり、対象が「就学前児童世帯」と「就学児童世帯」とありますが、どのように選ばれますか。

【議 長】

ありがとうございます。事務局の方からお願いします。

【事務局】

就学前児童は、その歳児の人口の3割程度を想定しており、0歳から5歳までそれぞれ500名を各校区から均等割で合計3,000名です。

就学児童も同じく、その歳児の人口の3割程度を想定しており、小学1年生から小学6年生までそれぞれ500名を各校区から均等割で合計3,000名です。

微妙に校区から人数に差が生じる場合がありますが、全対象で6,000名の配布を考えております。以上です。

【事務局】

補足ですが、対象はあくまでお子様宛送らせていただき、保護者の方からお答えいただく予定です。

【委 員】

各学年で500名ずつというのは、分かりましたが、校区と説明されたが通われている公立や民間の保育所、幼稚園に関係なく校区だけとなりますか。

【事務局】

前回と同じように校区で行いたいと考えています。

【委 員】

資料のP32にある就学前児童の状況という0歳から5歳までに分かれていて、どのような施設にと細かく分かれていますが、そのような細かい形での調査は難しいのでしょうか。公立や民間に偏りが出てもったいない気がします。どっちのあたりをとるのでしょうか。

【事務局】

無作為抽出となりますので、どちらかの方に重点を置くというのは出来ませんのでご理解ください。

【議長】

ありがとうございます。他に何か質問等ありますか。

【委員】

先程の質問の続きとなりますが、居住している校区という理解でよいですか。

【事務局】

その通りです。

【委員】

居住している校区で人口が違うと思いますが、その校区の 3 割ということなので校区によって対象となる人数が違うという理解でよいですか。

【事務局】

その通りです。

【委員】

人数が多い校区で、大体何人くらいになりそうかわかりますか。

【事務局】

出来るだけ直近の情報と考えておりますので、まだはっきりとした人数は、申し上げられません。

【議長】

ありがとうございます。他に何か質問等ありますか。
無ければ、次の議題へうつります。

【議長】

それでは、「2 議題（2）その他について」、事務局の方から何かありますか。

【事務局】

特にありません。

【議 長】

国の方から、計画策定について説明の時期が遅れていて、1月2月3月と非常にタイトな予定となっておりますが、事務局の方からは、スケジュールを示していただいているので、それを目標に進めていきたいと思います。

【委 員】

アンケートの設問の件も先に言わないといけなかったのですか。

【事務局】

はい。設問についてもご議論いただければと思います。

ただ、最初にご説明しましたように、大阪府のこども計画に反映させるため、設問の内容を大幅に変えるのは難しいです。岸和田独自の設問を追加することは可能かと思いますが、現在お示ししています設問の変更できませんのでご容赦ください。

【委 員】

「就学児童世帯」向けの設問ですが、P12 の問 24 にある「平日の放課後及び休日のお子さんの過ごし方」についての設問がありますが、「長期休暇中の子どもがどのように過ごしているか」という設問がないので、追加できるならお願いします。

【事務局】

ありがとうございます。大阪府にも確認したうえで、出来るだけ追加設問としたいと思います。

【議 長】

ありがとうございます。では一点追加としてご検討いただければと思います。

【委 員】

「就学前児童世帯」向けのアンケートの中で、親が希望する施設についての質問はどの部分になりますか。

【議 長】

もう少し具体的をお願いします。

【委 員】

働く親として一番心配なのは、幼保再編によって、公立の保育所で預けられる子

どもの数が減ってしまうというところです。

ニーズ調査を行い、子育て支援事業に活かすのであれば、そのような質問があればいいのではないかと思います、どのあたりがこの質問に該当するのか教えてほしいです。

【議 長】

ありがとうございます。事務局の方からお願いします。

【事務局】

今ご質問のあった件ですが、P10 をご覧ください。問 20 の設問がご質問いただいた内容かと思います。

【議 長】

ありがとうございます。

【事務局】

次回の「第 31 回岸和田市子ども・子育て会議」についてですが、3 月下旬頃の開催の予定です。改めて、会議 1 週間前にご案内させていただきますので、よろしくをお願いします。

また、傍聴の方は、本日の資料を会議終了後に回収いたしますので、お持ち帰りにならないようにお願いします。

最後に、委員の皆様からご意見いただきました調査票につきましては事務局で検討の上、最終会長へ一任という形で行いますが、ご異議ありませんか。

ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

【事務局】

予定より早く会議が終わりましたので、せっかくの機会ですので、意見交換できればと思います。

■意見交換会

これを持ちまして、第 30 回岸和田市子ども・子育て会議を閉会といたします。ありがとうございました。